

資料 1 : 分析の基準

基準項目	定義
教科書名	
文型	分析の対象となる文型
分析の対象(教材の種類)	教科書(本冊), 付属ワークブック, 付属問題集, 教師用指導書 等
課	分析の対象となる文型が取り上げられている課(教科書)
課のタイトル	分析の対象となる文型が取り上げられている課(教科書)のタイトル
場所/場面	分析の対象となる文型が用いられている本文(モデル会話等)の場所や場面の設定
コミュニケーション活動	分析の対象となる文型が, 本文(モデル会話等)でどのようなコミュニケーションを成立させているか
目標(明記されている場合)	教科書や教師用指導書に明記されている, 分析対象の文型に関する目標
目標(記述の追加)	(必要な場合のみ)
技能	本文(モデル会話等)と練習では, 分析対象の文型が4技能のどの技能において用いられるものとして扱われているか
練習タイプ	機械練習, 意味練習, コミュニケーション練習の3種類に分類する
機械練習	形式の正確さ(accuracy)を重視した練習 (例) 代入練習, 変形練習, 結合練習, 拡張練習, 完成練習, 問答練習
意味練習	・形式の正確さを重視するが, 意味を伴い, 実際のコミュニケーションに一步近づいた練習 ・あくまでもその場(学習の場)に依存し, その場にあるもの(教科書等)を利用し, 指定された文型を使うことが求められる自由度のない練習 (例) 小会話練習, シナリオドラマ
コミュニケーション練習	・なめらかさ(fluency)を重視した練習 ・現実のやり取りに近く, やりとり自体にコミュニケーション上の意味がある練習 ・即興性があり, 会話の展開が予測できない部分がある練習 (例) ロールプレイ, 即興ドラマ, ゲーム

資料2：学習目標と練習タイプとの関連

<例1>

■学習目標：能力や状況について説明したり、尋ねたりする

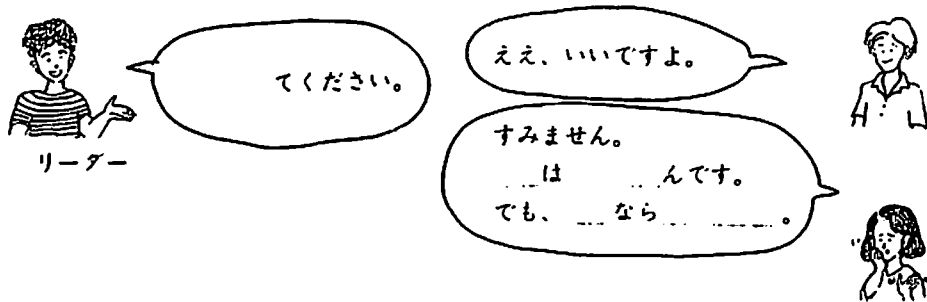
■練習例：コミュニケーション練習

今度の日曜日、友達(ともだち)の誕生日パーティー(たんじうびパーティー)をします。
 みんなで話し合(か)って、係(か)を決(き)めてください。
 楽しいパーティー(たのしいパーティー)にしましょう。

1. グループを作(つ)って、リーダーを決(き)めます。
2. リーダー(A)は48ページ、リーダーじゃない人(B)は90ページを見(み)てください。
3. グループで話し合(か)いましょう。
4. あなたたちのパーティーについて、発表(はつぷつ)しましょう。
 どのグループのパーティーがいちばん楽し(たの)しそうですか。

B 8 クッキーなら作(つく)れます

● リーダーがあなたにお願(ねが)いをします。自分(自分)ができることは引(ひ)き受(う)けます。
 できないことは断(き)って、代(た)わりにできることを言(い)ってください。



<例2>

■学習目標：できること/できないことを述べる


■練習例：意味練習

ドラえもん

これは「ドラえもん」です。日本の子どもたちはドラえもんが大好きです。漫画の主人公で、猫の形のロボットです。

ドラえもんは不思議なポケットを持っていて、いろいろな物が出せます。例えば、「タケコプター」や「タイムテレビ」です。「タケコプター」を頭に付けると、自由に空を飛べます。「タイムテレビ」では昔の自分や将来の自分が見られます。

わたしがいちばん欲しい物は「どこでもドア」です。このドアを開けると、どこでも行きたい所へ行けます。皆さん、もしドラえもんに会えたら、どんな物を出してもらいたいですか。



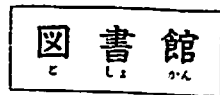
- 1) () ドラえもんは動物です。
- 2) () ドラえもんはポケットから便利な物を出します。
- 3) () 空を飛びたいとき、「タケコプター」に乗ります。
- 4) () 「どこでもドア」があったら、どこでも行けます。

■練習例：コミュニケーション練習

Group Activity—“What Is It?” Game

The class will be divided into two or more groups. The instructor will show the name of a place to the representative of each group. The rest of the group members ask their group representative whether one can do certain things there and guess what place it is. The representative can answer the questions only with はい or いいえ. The first group that gets the correct answer gets a point. Change representatives.

Example:



Sample Questions:	Answers:
そこで食べられますか。	→ いいえ。
本が読めますか。	→ はい。
図書館ですか。	→ ええ、そうです。

* 本来は出典を記載すべきですが、分析の都合上、本資料上での記載を控えました。